

平成 30 年 1 月
第 378 号



かわいい雪だるまがお出迎え (丸森邸)



お
お



“おめでとう” 10,000人達成
来て・観て・よかった『丸森邸』

おもな内容

- ・新年挨拶(コミ・丸森・公民館)…P2～P5
- ・干支コーナー …P6～P8
- ・しめ縄、門松 …P9
- ・旧大湫小学校の思い出 …P10

謹賀新年

皆様にはご健勝にて新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は大湫町コミュニティ推進協議会三十周年に始まり、公民館・丸森の指定管理制度の導入、四日間の「オオクテ・ツクルテ」大イベントの開催などとても忙しい一年でしたが、市内外からも好評価をいただける素晴らしい催しと運営管理が出来ました。町民の皆さんのご支援・ご協力の賜物と改めて感謝いたします。

惜しまれるのは、大湫を支え続けていただいた安藤秋義さんが他界されたことです。秋義さんの郷土愛、思いを引き継ぎ、少しでも町が元気になるよ

う頑張っていかなければならないと思っております。

新年を迎え、最初に頭に浮かんだことが「町の将来を考えると、このまま何もせずにいくと少子高齢化が増々進み、町の存続が危ぶまれる状態になってしまいうし今まで行われてきた様々な活動・行事もできなくなってしまうのでは」とかしなあかん。」でした。

大湫は、今まで小さな町ながら、市内の他の町と同じように年間を通して等、いやそれ以上の行事をこなしてきました。これは町民の理解と町を愛する気持ち、絆があつてのこと、中高齢者が頑張っていてこそ出来得たことです。

最近、市も「中山道大湫宿」の町並み景観を重視し、昨年は



「丸森」を改修。今年は「新森」の改修を計画しています。市は景観条例重点地区の候補として大湫宿全体の保存活動を進め、町並みだけでなく飲食店や宿泊施設があり、訪れる人々に楽しんでいただける観光スポットにすることで住民に何らかのメリットが見いだせないかも考慮中です。

これらの夢の実現には、町民の気持ち、意識、協力が必要不可欠です。大湫を存続させるために一步一步前を向いて進んでいきましょう。

本年が皆様にとって明るい幸せな年になりますよう祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

大湫町コミュニティ推進協議会

会長 小栗 司

「オープン一周年」

丸森より

謹んで新春の

お慶びを申し上げます

本年もよろしく願います

施設長 玉置憲政

昨年一月五日に丸森の指定管理がスタートして一周年を迎えます。初めての試みであり、毎日の開館ということでは不安いっぱいでしたが、何とか適切な維持管理に努めてきました。

これもスタッフをはじめ地域の皆様方の温かいご支援とご協力のおかげと感謝しています。

ここで、一年を振り返り丸森の役割についてご紹介させていただきます。

①文化財の保存及び一般公開

＊建物や周辺の清掃活動に努めながら、施設を良好な状態に維持してきましたが、古い建物であり、文化財でもあるためにいろいろと制約があり大変です。

＊オープン以降100%開館を続け、十二月十七日に一万人を達成しました。



“中山道をあるく” ツアーのみなさん

②観光案内所及び立寄り所

＊「来て、観て、丸森邸」をテーマに大湫宿での唯一の立寄り所として、中山道を旅する人々や大湫宿に訪れる人々に対して案内と湯茶のおもてなしをしてきました。



＊多くの方から「地元の声が聞けてよかった。」「温かいおもてなしで一息付けた。」と喜んでいただきました。

いています。

③活用事業の計画

＊大湫宿の年中行事や歴史的な行事から自然環境まで、幅広く紹介できるようにスタッフでアイデアを出しながら展示の工夫をしてきました。



＊十一月の「和宮を偲んで」のイベントでは、内掛けを羽織ったり、侍女との記念撮影をしたりと大変好評でした。皆様のご協力に

感謝しています。

＊丸森単独での事業は限られますので、公民館行事との共催によってさらに効果を上げていけたらと考えています。

④大湫宿からの情報発信

＊丸森のオープンと同時にホームページを新設し、丸森や宿内のニュース・イベント情報等を提供してきたこともあって大湫宿へのリピーターが増えてきています。

＊ハガキによるおもてなしでは、北海道・沖縄から海外までの交流ができました。



丸森だより

12/28～1/4まで休館日



H30年1月5日(金)9:00より開館

甘酒を用意してお待ちしています。

スタッフ一同

最後に、丸森邸が大湫宿の更なる交流の場となるように頑張っていきたいと思っていますので、ご協力よろしくお願いいたします。

公民館のさらなる活用を願って

明けまして

おめでとう

ございます。



瑞浪市の指定管理制度の発足により、公民館が新しい運営体制となり一年が経ちました。大湫町コミュニティ推進協議会が指定管理者となり、公民館を運営することに伴う変更でした。

この一年、区長会と町内諸団体の協力、何よりもこれまで公民館活動を支え、活動実績を蓄積されてきた関係者から多大な援助をいただきました。「丸森」のスタッフの皆さまをはじめ、ご援助いただいた多くの方々にあらためて感謝申し上げます。

「光陰矢の如し」。この言葉を実感する2017年でした。新たな

年の始まりにあたり、皆さまの要望や意見を反映させ、公民館が社会教育・生涯教育の場として一層活用されるよう関係者一同、努力を致したいと思っております。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

公民館館長 長谷川 明

足又地区で餅花づくり

12月15日（金）

昨年につき、今年も餅花を作りました。

早朝から奮闘した！
朝の釜たち！



いよいよ正月が迎えられるね！



“落とし物？”へのお願い

先日（12月中旬）、町内のある方からこんなお願いがありました。「『広報大湫』で皆さんに協力していただけるよう、お伝えいただけませんか」というものです。

よく聞いてみると「タバコの吸い殻が中山道に結構落ちているですよ…。観光に来た人かもしれません。そして犬の糞や塊になった毛も、…」ということでした。

景観について議論が活発になされ始めている今こそ、お互いに注意し、犬の飼い主さん、愛煙家の皆さん、よろしくお願いいたします。



僕たちも協力したいワン！

飼い主さん、お願い…



千支コーナー

雑感

山口 雪子

つい最近の事、書類の年令欄に六十才と書きそうになり苦笑したものです。

自分でも受入れ難い年になったようです。しかし、早世の父母を想う時、十年も余分に生かされて来た。後は、おまけの人生とし、日々感謝を忘れないようにしたいと思う。

日頃、殊に家族には「ありがとう」「すまんね」の感謝の言葉を素直に口に出せないでいる。これからは沢山言葉にしよう。

新年への小さな目標にしよう。
なかつま
「極月や記憶の内の母約し」

折しも、先月十二日に七十二回目の誕生日を迎えました。

昭和二十一年、大雪の日だったそうですね。私を生んでくれてありがとう。そして昭和四十一年の正月、あの日も大雪でしたね。それからの四年間は二人だけの生活だったね。荒れて行く農地に心も身体をも痛め、又大人になりきれないで反抗ばかりの私でした。淋しい思いをさせたままでごめんなさい。

もう届かない亡母への感謝と、詫びをこの年になって思い出させて頂きました。

新年号には相応しく無い内容で恐縮ですが、広報に貴重な一こまを与えていただいたことに感謝致します。



年男を迎えて思うこと

柘植 巧

新年あけましておめでとうござい
ます。

昨年中は、いろいろお世話になり有難うございました。

今年は千支が戌ということ、年男となりました。年男となりふと幼き頃を振り返ったとき、遊び回った山・川・田んぼの風景そして手が届きそうだった星空が思い出されました。

今はその頃と違い時の流れと共に田舎の風景も変わりましたが、家の前のナンジャモンジャ（ヒトツバタゴ）は、新緑の五月には綺麗な花を咲かせています。

さて、あらためて年男と言われ今年は何かをと意気込み抱負を考えましたが、意気込むより今までどおり皆様方と共に大湫の四季を感じながら、町

そして地区の行事や野菜作り・草刈りなど、無理せず焦らず大湫町で田舎生活を過ごしていきたいと思えますので、これからも宜しくお願いいたします。

皆様のご健康とご多幸を心よりお祈りいたします。

余命〇〇年

後藤 裕子

一般社会では、定年を迎える年齢に私もいよいよ今年なつてしまします。少し寂しい気持ちになるのはなぜでしょうか。平均寿命からみると、約3分の2の人生を終えた事になります。この世を去った時の事をよく考える様になりました。そんな年齢になったのだと思う今日この頃です。

若い頃から比べても、人間的にはちつとも成長していないのに、年はとつ

て行く一方です。

自分の人生を振り返れば、少々山あり谷ありでしたが、家族、周りの方々にささええていただき、ここまでこれた事はあるがたく、忘れてはいけない事と思つています。

子供はそれぞれ自立をし、親としてのひとつの役目は終えさせていたただいたかな？

この先、あと何年の人生になるかわかりませんが、自分のやりたい事ができて、平々凡々な毎日が一番幸せなのではないかと思つています。

数年前に、娘たちとあるマラソン大会に参加しました。その頃、走る事が楽しいと思ひかけ、続け様と思つた時、足を骨折してしまい、その後走つていません。今年は、少し足と相談しながら走つてみようかと思ひます。気はあつても、この年ですから、体がついて

いくかはわかりませんが・・・。

そして、我が家にはもうひとりいぬがいます。今年十五才を迎える老犬です。こちら足が少々おかしくなる時がある様で、よく転びます。この相棒とお互い“がんばれ”
と言ひながら無理せず、少しずつできたらいかなと思つています。



歩く

秋山 仁恵

私は昭和五十七年生まれの戌年です。今を遡る事、約六年前、三十才になった私は急に四国八十八ヶ寺のお遍路に出る事を思ひ付きました。

幼い頃から家族旅行と言えば例外なく山という家族で育ちましたので、歩く事には慣れているつもりでしたが、当時は陶器の窯焼きで絵付けの仕

事をしており、毎日八時間の座り続ける生活に完全に体はなまっています。三十才の節目の年に自分がどれだけ人としてやれるか自分を試してみたい気持ちになったのです。

結婚して三年半経っていました。一人で、歩きの通し遍路に行っても良いか主人に尋ねると「ダメって言うても行くでしょ？」との返事。野宿だけではないという条件で快諾(?)してくれました。

少し季節はずれの六月に、とてもドキドキしながら出発したのを覚えています。徳島から高知、愛媛、香川と梅雨のシーズンから夏まで、四十九日で千五百kmを歩き結願しました。家族も私自身も途中で帰るかな?とあまり期待もしていませんでしたし、途中で何度も帰ろうと思いましたが、何度泣いて電話をした事か。それでも不思議

とたくさんの人にお接待を受けたり、困った時には助けてくださる方と出会った。最後まで歩き通す事ができました。

高野山に寄り、家に帰った時には8.5 kg痩せていました。その後、今までなかなか子供を授からなかった私達でしたが、娘を授かりました。たくさん歩いて授かったし、自分の道を自分で遅く歩いて行って欲しいと思いい主人が「千歩」と名付けました。



去年の秋、家族三人で屋久島へ行きました。縄文杉を見る為に大雨の中を十一時間半のトレッキングでした。

娘を背負って歩く道は過酷の一言でしたが、三人で最後まで歩き抜く事ができた事が、本当に嬉しかったです。翌日の筋肉痛のひどさにこれから

こうして歩き続けて行きたいと願い、同時にもう一度ダイエットを決心するのでした。



十二月の俳句

山口雪子

振り向けば里の峠に冬の虹 にじ

無住寺となれる故郷花八手 やつで

天野辰代

廃校の見納めとなる

師走かな しわす

無縁仏宿場見下ろす むえんぶつ

冬木立



“伝えよう・覚えよう 伝統技術！”

毎年、大湫に伝わる技術と心意気の継承は絶えることなく引き継がれてきました。この職人技ともいえる見事な技を若者に伝えていきたいと節に願います。

大しめ縄飾り 12/17 (日)



太いところは
直径 50cm はあ
るにい！



門口にしめ縄を飾るのは、
外からの災いが内に入らないようにと
願いが込められています。

大変な作業に参加頂きました皆様、
ありがとうございました。



門松作り 12/21 (木)



大湫公民館

ふれあいセンター



しめ縄が災いを防ぐものなら、門松は正
月の神を招くもの。

大湫公民館に訪れる方々から、毎年お褒
めの言葉を頂く自慢の『門松』です。



「伝統を絶
やしてはいけ
ない」と言う
男衆の意気込
みを感じます。

参加頂きました皆様、ありがとうございました。

旧大湫小学校

小学校の思い出

新年あけましておめでとうございます。

私が、旧校舎からこの校舎に入ったのは5年生の時です。当初は赤い屋根そして、鐘の替りにミュージックサイレン「キンコンカーン」と鳴る心地よく斬新的なものでした。

今、子供の頃を振り返ってみると新校舎は嬉しかったけど、校舎よりもグランドがおよそ2倍程広くなり、遊ぶ場所が増えたことが一番の喜びでした。昼休みは外に出て男の子は陣取り合戦等、女の子はゴム飛び等で遊び、放課後はゴムボールと竹バットで野球のまねごとをして暗くなるまで遊んでいました。

グランドの拡大によって、今まで大湫中学校で行っていた運動会がこの小学校のグランドで出来るようになりました。

確かこの頃には、旧公民館も建てられたと思います。また、伊勢湾台風が来て、甚大な被害をもたらした記憶があります。我が家も傾き、ジャッキで少し直したことを覚えています。

しかし、そんな中でも新校舎はピクリともしませんでした。そんな頑丈な校舎も、廃校から約12年、建築されてから約60年経ち、時代の流れとはいえいよいよ解体されようとしています。平成30年3月迄には工事も終わり更地になってしまいます。寂しく虚しい限りです。

以上、初老の爺(渡辺隆吉)

〔次回は西区の小栗和明氏です〕



昭和33年建てられた頃の校舎



毎月2回、
大湫町内を
パトロール
してるよ…。

青色回転灯防犯パトロール

1月のパトロール予定者

1/上旬：玉置憲政,大内延男

1/下旬：三輪勝彦,安藤則通

旧大湫小学校解体工事の安全祈願祭を行いました

教育委員会教育総務課

12月4日に工事受注者である（有）イタギ商事が、本格的な建物本体の取壊しに先立ち、工事の安全祈願祭を執り行いました。場所は、内部の片付けを行った校舎1階旧理科室です。



大湫町代表の皆様にもご出席いただき、水野市長、小川市議ほか、工事関係者同席のもと、稲津町の中山征治神官によって厳粛に行われました。

1月からは、校舎及びプール棟本体の取り壊しを行います。

工事に伴う搬出車両等の往来も増え、3月の工事完了まで大湫町の皆様には引き続きご迷惑をおかけしますが、安全を優先に作業を行います。ご理解ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



お知らせコーナー

オススメ！大湫分室の本
「世界の英語ができるまで」

唐澤一友：著

イングランドの片田舎でしか使われていなかった英語が、どうやって世界共通語になったのか。

世界の英語の驚くべき多様性と壮大な歴史を紹介しています。

冬季限定特別優待券あります

（1枚5名様まで）

「冒険の舞台は世界の大河」

企画展『そのなまえヘンテコリン』

期間：H30.4.8まで

会場：世界淡水魚園水族館

アクア・トトぎふ

大湫景観協議会

中津川宿(本町)視察

十二月九日、好天に恵まれて、私たち「大湫景観協議会」の一行は、景観協議会活動の先進地である中津川宿へ、市都市計画課の担当者並びに指導をいただいている

大学教授・高専の生徒さんたちとともに出かけました。中津川市中山道資料館において、安藤館長並びに原景観協議会会長から、これまでの取り組みの経過をお伺いしました。

「中山道こまちの会」というおみさんの会と商店主、並びに行政・大学が連携を取って進めてきた経過を、「協定なんかは、ぼわーとしたもんがええで」「女・子供と気楽に取り組むとうまあい

くで」など、ユーモアを交え明して説いて下さいました。

現地見学では、こまちの会の植え込みや、整備された外灯・公園・カラー舗装・格子窓など、美しく整備された街道をゆっくりと散策させていただきました。

大湫宿とは規模も違いますが、まちづくりの心意気を感じ、「大湫宿なら・・・」というイメージを膨らませながら帰ってきました。



(宿内を案内下さる原会長)



(景観に配慮した常夜灯)



(電柱は地中化でスッキリ)

* 大湫宿お休み処

1月の営業はお休みしております。

* おもだか屋『ほっか』

1月営業日 (原則) 毎週金、土、日曜日

営業時間 AM10:00~PM2:00

(ただし、営業日は変更になる事もあります。)



生きものがたり（7）

婚活は出会いの努力

次の世代を残すことは、生きものに課せられた使命。だが、この使命を遂行することは簡単ではありません。

群れること（集団）は利点があるものの、単独で生活する方がなにかと好都合で、生きる上で不可欠な餌や住み家を探すにも便利なが多いのです。だが、次世代を残すという一大事業は相手を必要とし、単独では成し遂げられません。近くに相手がいなければ、出会いのチャンスはなかなか巡ってきません。相手と出会うには努力が必要です。

出会いのために、鳴いたり、光を放ったり、化学物質を放出したり、時には待ち伏せもします。身の危険も省みずに、です。それでも広い空間を個別で生活している動物が相手と出会うことは簡単ではありません。

そこで、出会いのために特定の場所や時間にオスとメスが集まる、いわば合コンのような方法を採用する動物もあります。

アユ、アマゴ、サケなどの魚たちは産卵に適した場所に、多くの仲間が集まってメスが生んだ卵に向けてオスが精子を放出します。そのためとても賑やかな産卵風景となるのです。

サンゴ（腔腸動物）は、満月の夜を挟んだ数日間、一斉に産卵と放精をします。海水が放精で色が変わるほどです。特定の相手を選ぶということよりも、自分の仲間を残していくことを優先しています。

ニホンミツバチは、午後になると目印となるような大木の上空に雄バチ（ドローン）が集まり、女王を待ち受けます。そこに新たに誕生した女王バチが向かいます。まさに処女飛行です。

カマキリやクモは肉食ですから、オスがメスに不用意に近づけば、捕らえられ食べられることがあります。そのため交尾の前に食べられない工夫と作戦を立てなければなりません。小さな雄カマキリは大きな雌カマキリに気づかれぬように近づき、たとえオスは自分が食べられはじめても交尾が継続できるのです。食べられたオスはメスの栄養となり、産卵数が多くなります。自己犠牲をもちとわなない究極の愛なのでしょうか。これを報告した研究者は、こう言います。「子孫を残すための投資」では…と。

並々ならぬ努力があって初めて次の世代が誕生するわけです。ヒトも生きものですから、やはり出会いには工夫と惜しみない努力、忍耐と知恵も

必要なのでしょう。

植物の場合は動き回れません。出向いていつて出会いを求めるのは不可能。そこで、花粉というカプセルに次世代のもととなる精核を入れ、相手（卵）に送ります。「下手な鉄砲も数打ちゃ当たる」の論理を地で行くように、無駄を覚悟でたくさんの花粉を作るのは、風頼み（風媒花）の植物。スギは風によって運ばれやすくした膨大な花粉を飛散させます。煙のように。花粉症の人には大変迷惑なことです…。まもなくスギ花粉が飛び始めます。ムズムズしてきたのではありませんか？



ようこそ大湫へ

11月末に福井県から大湫に引っ越してきました「A・H」です。家族は妻と子ども

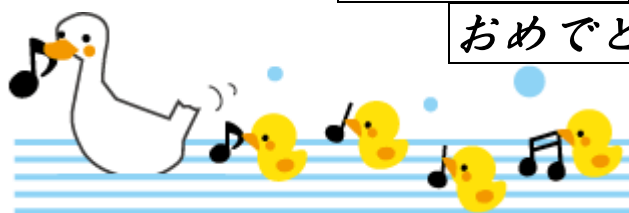
2人の4人家族です。

私も妻も陶芸をしています。

初めての土地でまだ分からないことがたくさんあります。ご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、これから家族とによりしくお願いいたします。

赤ちゃん誕生

おめでとうございます



12月16日 長男誕生

お父さん O・Yさん

お母さん O・Yさん

リ・アップ “ひよも” だより

日にちを間違えないでね！

1月のお茶のみ会のおさそい

日時：1月10日（水曜日）9：30～11：00頃まで

場所：ふれあいセンター

参加費： 50円

お待ちしております

平成二十九年・大湫町ニュース『十』

一、一月五日、公民館と丸森の指定管理が発足した。公民館長に長谷川明氏、丸森施設長に玉置憲政さんが就任された。

二、一月二十二日、大湫町コミュニティ推進協議会設立三十周年式典が、水野市長を始め県や市の関係者や各地区の町づくりの会長さんのご来席を頂いて、盛大に開催された。

三、三月十八日、神明・白山神社の「御輿」が立派に修復されて公開された。

四、四月二十四日、安藤秋義氏が死去された。享年八十三歳。瑞浪市議会議員として、六期二十四年間に亘って瑞浪市と地元大湫のために尽力された。その功績に国より「旭日小綬賞」が授与され、「正六位」の榮に浴された。

五、十一月九日、瑞浪市功労者表彰式で、

地方自治功労賞に 三浦順三氏

消防功労賞に 安田清和氏

善意善行章に 大湫町区長会

が表彰された。

六、六月四日、西森川邸の保全と清掃

が町内外の人達のボランティアによつて前後五回行われ、見違える程きれいになった。嬉しいニュースである。

七、七月二十五日、公民館の行事として、「寺子屋」が六回開かれた。後日出席した子供達から好評の声が聞かれた。

（大湫子ども会が、子供会連合会より表彰されたことをお知らせする。）

八、九月二十三日より十月一日まで、第三回オオクテ・ツクルテが大湫宿の秋祭りに合わせて盛会に開催された。陶芸作品を始め、物づくりに

夢をかける若者達に期待する。

九、四月五日、岐阜大学の落語研究会のメンバーによる「おおくて寄席」

が開催された。「笑いが一番」芸はさて置いて、心休まる一時だった。

十、十月三十日から十一月二日まで、旧小学校の取り壊しを前にライトアップされた。不滅の古代魚シーラカンス像も泣いていた。

余文 「旅行」の目的は色々あるが、帰りに何か「みやげ物」を買って帰るのが何より楽しみだと言う人が多い。

大湫宿の景観はよくなっているが、肝心の「みやげ物」がないのが残念だ。みんなで知恵を出し合つて「大湫名物」をつくり

たいものだ。文責

天野長三郎





H.30

1月の集まろう会

大津町
コミュニティ推進
協議会集まろう会

あけましておめでとうございます。今年もよろしくおねがいます。

集まろう会は、この地大津で子どもたちと地域のみなさんとつなげていけるように、あそび、まひびをこれからも続けていけたらと思っています。

おじいさん、おばあさんがたのお知恵、技、まひ、体験を伝えてきたことを、これからも教えていただき、共に笑っていけたら願っています。

1月は 第2火曜日の 9日 10時から12時



第4火曜日の 23日 10時から12時

第4土曜日の 27日 10時から12時

場所は ふれあいセンターの“老人作業所”です

☆日当たりの良い所で あたたかいですよー！

おりがみや 紙ねんど など 小さい子たちやだれでも楽しめるようなカンタンなもの作りもしたいと思っています。おしゃべりしたり、お茶したりおじいさん、おばあさんも若いママも赤ちゃん連れで、子どもたちも、いろんな世代で交流したいと思っています。みなさんぜひ集まって下さいね!!

お知らせ



◎ 太鼓練習は3月までお休みします。

◎ 2月に 中仙道ゴルフ場で展示されている小学校の書き初め展を見に行きたいと思っています。

◎ 2月は 2/13(火) 2/27(火) 2/24(土) が集まろう会の日です。

区長日記

明けましておめでとうございます。悲喜こもごもの平成二十九年を見送り、輝かしい日の出とともに新年を寿ぎ、新たな一年に幸多かれと祈るものです。

去年は、まちづくり三十周年、丸森・公民館の指定管理出発、新装なった神輿や山車のお披露目、さよなら大湫小学校舎など、動きの激しい一年でありました。

また、大湫宿景観協議会の立ち上げから新森・西森・米屋の活用など、今後の大湫町の方角付けをしていく上で、節目の年でもありました。

転入対策活動で新しい町民を迎え、住んで楽しい大湫町になるよう、「おしゃべりサロン」や「ひよも」「集まろう会」活動など日頃の交流の場を大切にしながら今年も元気にまちづくりの諸活動に取り組んで行きたいと思います。

神社仏閣や公共施設を飾る美しい御注連縄や門松を見ると、大湫町の歴史や伝統を大切にする人々の心意気が伝わって来て、大湫人であることが誇らしく感じるのは私人でしようか。

今年の区長会の夢は、大湫町で一番高い所、本陣山の頂上に登る登山道の整備です。昔の人たちが付けた足跡を辿って、子供たちとともに安全に楽しく登れるルートを、みんなで切り開こうではありませんか。

区長会長 足立

12月1日 定例区長会・幹事会

9日 景観協議会視察（中津川市）

10日 農地水長寿命化事業草刈り・秋葉神社例祭

11日 交通安全指導・釜中閉校式打合せ会

14日 各種団体長会議

15日 花餅づくり・「丸森邸」忘年会

17日 大湫宿大しめ縄づくり・「丸森」1万人祝賀行事

20日 退職公務員ボランティア清掃活動

21日 「新森邸」プロポーザル・「米屋」活用懇談会

22日 農地水神田側溝改良研修会

26日 空き家対策協議会・転入対策発表打合せ会

27日 神社等門松立て

31日 そば打ち体験講習会・越年マラソン大会

平成三十年一月行事予定

日	曜	予	定
一	月	*元旦	
四	木	仕事始め	
五	金	第七十回伊勢神宮初詣（～六日まで）	
七	日	瑞浪市成人式	
八	月	*成人の日／消防出初式	
九	火	財産区全員会議／幼・小・中始業式 集まろう会	
十	水	定例区長・幹事会 リ・アップ「ひよも」	
一三	土	おしゃべりサロン／北区新年会	
一四	日	西・北区どんどん焼き、西区新年会 足又地区どんどん焼き、新年会 神田地区どんどん焼き	
一八	木	郷土の歴史を語る会	
二三	火	集まろう会	
二五	木	中仙道GC「釜小書初め展」二月 末まで	
二六	金	釜小スケート教室	
二七	土	おしゃべりサロン／集まろう会	
二八	日	釜子連節分の会／市福祉大会	
三〇	火	広報委員会	

今月の資源ごみ: 1/23(火)不燃ごみ: 1/10(水)

編集後記

◎今年、あれもこれもと思いはあるが、一番に思う事は「健康」ですネ。いっぱい笑って、いっぱい食べて、いっぱい会話して、今年も一年頑張ります。

◎お金と時間が許す限り、自分の好きな事や趣味をやり、悔いのない一年を過ごす。まず健康！

◎今年、健康に気をつけて、たくさんの人との出会いを大切にしたいです。

◎今年、プチダイエットを行い、少しでも前の体形に戻りたい。

◎今年、広報委員会をなるべく休まないようにしたいです。

◎健康第一！

◎一年一年過ぎるごとに、体のどこかにカタが来ています。周りに、特に広報委員会に迷惑かけないよう頑張ります。

◎・・・！

今年もよろしくお願ひします。

広報委員

大竹颯久
加藤晴夫
松浦大哲
木村伸哉
手島 敦
宮地真美子
瀬瀬静代
棚橋雅美
北澤健次
木村良子



編集発行：大湫町コミュニティ推進協議会 広報委員会
平成30年1月1日 瑞浪市大湫町 422-1 TEL0572(63)2360
<http://okute-shuku.jp/>